

# 防災プロジェクトで 安全・安心な地域づくり

## 鳥取県湯梨浜町 松崎自主防災会

平成28年10月に発生した鳥取県中部地震（震度6弱）において、自主防災組織が機能しなかった反省を活かし、「私たちのまちは私たちが守ろう」を目標に、防災活動は人と人とのつながり（絆）が第一であることを再認識した。

そこで、区長会等の地域団体が連携する防災活動強化のプロジェクトを立ち上げ、地域が一体となって活動を展開した。特に、女性団体による手づくり防災頭巾贈呈プロジェクトは防災強化の起爆剤となり、この活動を契機に、住民の防災意識は大きく変化し、災害に強い安全・安心な地域づくりは前進した。

### 活動のきっかけ

松崎自主防災会（6行政区の自主防災組織連合組織）は平成21年発足（約1150人）。

平成28年10月に発生した「鳥取県中部地震」の対応において、自主防災会が機能しなかったことが「防災活動強化プロジェクト」立ち上げのきっかけである。松崎自主防災会の活動は結成以降、行政区毎の独自の活動に委ねる形で活動を展開していた。各行政区では防災訓練や避難訓練が行われているが、形骸化した訓練で活動は限定的であった。一方、地震発生時に松崎の一部地域では、日頃から多世代が集うカフェで、その地域の住民同士が連携した避難誘導が

行われた。

このことから、日頃から身近な近隣・住民同士の繋がりが地域コミュニティづくりの必要性を痛感した。

### 自主防災活動強化プロジェクトの立ち上げ

鳥取県中部地震発生直後から各地域でイベント中止が相次ぐ中、松崎地域では地震発生後の1カ月後の平成28年11月「松崎から元気を発信」をキャッチフレーズに「まっさき元気まつり」の開催が実行された。このイベントの主催者・共催者は、松崎地区区長会や地域のコミュニティ団体で、いわゆる住民手作りのイベントである。自主防



災害もこのイベントの一員として参加。地震後の厳しい状況の中、住民同士が連携し、まつりを成功させたことが「住民の結束」に繋がり、地域の防災強化に取り組むための地域環境が整った。

住民手づくり「軽トラック市」終了後の平成29年春、区長会に松崎地区の防災活動を強化するため、住民が一体となって防災活動に取り組みプロジェクトを取り組むプロジェクトの取り組みがスタートした。

プロジェクトの取り組み方針は、①活動を通じて人と人との繋がりがりづくり ②地域コミュニティの交流強化 ③地域の宝である子どもたちを守る ④地域イベントとの連携等で、住民の意識改革の起爆剤となるようなテーマを設定し、活動に取り組むことを決定した。

## 防災頭巾作りのステップ

湯梨浜町 松崎自主防災会 防災活動強化プロジェクト

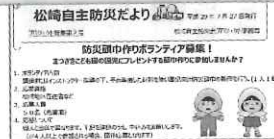
### 1. 頭巾作り作業開始までの段取り

- ① 講師による防災頭巾と作業内容の検討  
⇒参加しやすいように、作業のシンプル化を意識  
⇒**材料の裁断などの難しい作業は事前に済ませ、ボランティア参加者は縫製作業をメインに行う**
- ② ボランティア参加者の呼びかけ  
(女性団体への声掛け、広告・放送による告知)
- ③ 園児に合った材料選定、米田講師による見本の製作
- ④ 防災頭巾作り作業マニュアルの作成および、作業向け材料の裁断

◎声掛け(女性団体ボランティア参加協議)



◎広告(松崎地区内の町報への折込み)

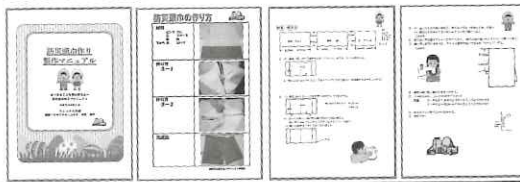


材料選定・見本づくり

☆簡単に被れる丈夫な頭巾をお願いします☆



マニュアル作成



### 2. 作業開始～完成・贈呈まで

- ⑤ 団体代表者向けインストラクター研修会の実施
- ⑥ インストラクターの指導による防災頭巾作り作業
- ⑦ 防災頭巾贈呈式(まつさき元気まつり ステージイベント)

インストラクター研修会



園児たちもサポート



インストラクター指導による頭巾作り作業(各団体にて)



完成した様子



防災頭巾できたよ☆

**団体に申し込まれた方々**  
各団体の代表者がインストラクター研修会に参加(講師:米田先生)  
⇒研修会参加者が講師となり各団体で期日までに防災頭巾を製作

**個人で申し込まれた方々**  
インストラクター研修会の参加不要  
⇒防災頭巾作り教室に参加し製作(講師:米田先生)

完成した防災頭巾



完成!!  
贈呈式へ...

防災頭巾作り等支え合いの輪広がる!

①起爆剤となった手づくり防災頭巾贈呈プロジェクト(平成29年度)

松崎地区には地域の宝であることも園がある。園児(園児数52名)に幼児期から防災意識の高揚を図るため、地域住民が手作りの防災頭巾を製作し、贈呈するプロジェクトを展開。



防災頭巾作りは地域住民が気軽に参加できるよう、事前に材料を裁断し作業のシンブル化やインストラクター養成研修会の開催等、取り組みを工夫した。また、『防災だより』での広報や、各種女性サロン等に主旨の説明に向き多世代の住民の参加を呼びかけ、目標の応募者50名を超える10団体62名（年齢20代～80代）に協力を得ることができた。最終的に防災頭巾62枚を製作、地域の元氣まつりで園児に贈呈した。

防災頭巾作りに参加していただいた多くの方から「自分たちも地域づくりに貢献できた!」「地域のみんなで作ることで、より絆が深まった」「住民同士、世代を超えた関わりができた」等の声が寄せられ、支え合いの輪の広がり大きな手応えを感じた。

年度末には、園児から参加者に心温まる手作りプレゼントをいただき、防災頭巾作りプロジェクトを通じ、園児と地域住民との距離も縮まり、一層「地域の絆」が構築できつつある。

## ② 体験型防災訓練プロジェクト

（平成29～30年度）

地域の元氣まつりに協賛し参加、多世代の住民が参加できる体験型防災訓練、松崎

地区の地域防災力の強化を図るプロジェクト。実施にあたっては、松崎地区区長会や消防署、公設消防団、女性消防隊、アマチュア無線連絡会、日赤奉仕団等多くの団体も参加。また、今秋の元氣まつりには、地元公設消防団消防操法披露等の取り組みを予定している。

## ③ 防災拠点づくりプロジェクト

（平成30年度）

住民が気軽に集い、防災等について語り合う場所として、平成30年4月松崎の中心部の交流施設を利用し「ぼうさいつどいの場」をオープンした。現在、開催日は月に1～2回程度で役員を中心に集う場となっている。

一方、「防災資機材の整備」について、空き倉庫を利用し土嚢、消火バケツ、スコップ、長机等を保管している。今後は、災害発生時に必要となる資機材の整備の一層の充実を図っていく予定である。

## ④ 定期的情報発信プロジェクト

自主防災会に事務局を設置し、活動情報の共有化のため定期的（1回/2カ月）に『自主防災だより』を発行している。また、ホームページとしてブログを立ち上げ、情報発

信し、常に住民の防災意識の啓発に取り組んでいる。

## 自主防災強化活動プロジェクトの成果と今後の取り組み

防災強化活動プロジェクトの取り組みは、昨年の防災頭巾作りを皮切りに、今年は防災拠点整備に軸足をシフトしながら取り組みを進めている。これらの取り組みは住民の防災意識に大きな変化を与えた。

しかし、防災活動の主要メンバーは高齢者が多い。地域の若者が様々な形で活動に参加し「次は自分たちがこの地域を守っていこう」といった気運に繋がるような取り組みが必要である。

また、ますます高齢化を迎える中、地震、水害等発生時の共助の具体的な取り組みの強化が一層求められている。

今後も、地域が一体となって継続的に防災活動に取り組み、常に住民の防災意識の向上に努めるとともに、地域の支え合いの輪を確かなものとし、安全・安心な松崎にしていきたい。

（松崎自主防災会 速水敏人）